

心をつなぐ、社会をつなぐ

ICTで豊かなコミュニケーション社会を実現する
協創型イノベーションで未来を創るビジネスインテグレータへ

トップメッセージ

ICTで豊かなコミュニケーション社会を実現する。

—協創型イノベーションで未来を創るビジネスインテグレーターへ

はじめに

近年のICTの進展は目覚しく、今や私たちの周りにはAI、AR／VR、ロボティクスといったデジタル技術があふれています。このようなデジタル社会の到来により、私たちの社会環境や働き方も大きく変わりつつあります。この急激に変化している経営環境に対応するには、オープンな場でアジャイルにビジネスを創出するいわゆる協創型イノベーションが必要となっています。このような経営環境を踏まえ、NTTコムウェアはお客さまの真のビジネスパートナーとして、これまで培った技術、経験、品質によってお客さまのビジネスをご支援することはもちろん、お客さまとの協創によってデジタルイノベーションを巻き起こし、新たなビジネスの創造にも貢献します。同時にこれらの挑戦を通じ、国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」に象徴されるような、サステナブルな社会の実現に向けた世界規模での活動にも貢献していきたいと考えています。

新たなビジネスの創出

2016年度もNTTコムウェアは、デジタルイノベーションにより新たなビジネスを創造しました。その成果として、画像認識とビッグデータ技術を組み合わせたAIソリューション「Deep Learning 画像認識プラットフォーム」を開発しました。またNTTグループで共同検討の上、開発したユニバーサルデザインマップをジャパンウォークに提供しました。加えて「光BOX+*1」にHEMS*2コントローラー機能を備えた「光BOX+ (EMS版)」に対してより多くの家電機器が接続できる仕組みの開発を継続的に行っています。

*1 光回線をテレビに接続することで簡単に「スマートTV」化してインターネットに接続しさまざまなコンテンツをお楽しみいただけるセットトップボックス。「光BOX」は、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の商標です。
*2 エネルギーの効率的な利用推進のため電力の見える化や各家電機器の遠隔制御等の家庭内のエネルギーを管理するエネルギー管理システム(Home Energy Management System)。



安心・安全なサービス提供

安心・安全な社会基盤を提供するエキスパート集団であるNTTコムウェアではお預かりするお客さまの大切なデータを堅牢に守るため、当社データセンターにおいて「SOC2保証報告書」【Type2】を2015年度より継続取得し、CO₂排出量削減にも継続的に取り組んでいます。また、深刻化するサイバー脅威への対応を強化するためCW-CSIRT(コムウェア・シーサート)を設立しました。

人材開発

NTTコムウェアでは社員一人ひとりがプロフェッショナルであることを誇りに、自らを変革させてきました。2016年度は社会環境や働き方の変化を踏まえ、育児や介護を抱える部下を支える管理者の育成を図りました。また出産や育児・介護休職中の社員に対しては、スムーズな職場復帰を目的とした社内広報情報の提供を開始しました。

CSRの推進

NTTコムウェアは2017年9月に創業20周年を迎えました。創業以来、日本の情報通信インフラを支えて来たノウハウ、ミッションクリティカルなシステムの開発・運用の経験を活かし、ICTソリューションを提供しています。今後、私たちの強みであるICTにおける総合力とも言える3つのコア・コンピタンス(Infrastructure Integrator、Innovative Migrater、Fundamental Operator)を活かし、お客さまのビジネスパートナーとして、期待され続ける企業でありたいと考えています。

また、事業活動にあたっては、コンプライアンス・企業倫理・人権等の重要性について、社員一人ひとりが理解し遵守するとともに、働き方改革・健康経営を重要な経営戦略と位置づけ、女性管理職の登用や障がい者の採用と育成、さらには社会貢献活動や環境活動など、あらゆるCSR活動についてNTTグループの4つのCSRテーマ、重点活動項目に沿った目標を定め、これを着実に達成していくことにより、持続可能な社会の実現に向け貢献してまいります。

NTTコムウェア株式会社
代表取締役社長

栗島 飛

社会に広がる私たちの事業

ICTが日常生活に浸透する中、NTTコムウェアのサービス・ソリューションは、社会のさまざまな場面で皆さまの「快適で安心な」生活を支えています。

Our Core Competence

私たちのコア・コンピタンス

NTTコムウェアは、これまで培った経験とノウハウを活かしつつ、最先端の技術力で、あらゆるお客さまのビジネス発展を支援するため、コンピタンスの強化・変革を続けています。

Infrastructure Integrator

通信キャリアの使用に耐える最適・高品質なICT基盤を土台に、マルチベンダ基盤技術を駆使し、世界中のあらゆる先進技術を組み合わせてお客さまのビジネスに最適なソリューションを提供します。

Innovative Migrater

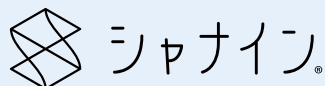
ミッションクリティカルなシステムやネットワークの数々を更改してきた実績をベースに、ローコスト、ハイスピードの開発・移行を実現し、経営環境の急速な変化に柔軟に対応します。

Fundamental Operator

NTTグループ内外の技術・ノウハウを結集し、オペレーションの自動化・高度化を図り、ローコストで国際水準のオペレーションを実現します。

Our Services and Solutions

主なサービス・ソリューション



企業向けのセキュリティを備えた、カンタン操作のモバイルアプリケーションで、外出先や在宅でもオフィスと協働するためのコミュニケーションを支援します。

SmartCloud® Phone

クラウド型のPBXサービスです。全国のお客さま拠点間を接続し、内線通話・代表番号着信・各種転送などの機能をご利用いただけます。また、モバイル端末での内線通話にも対応しオフィス内に限らず、さまざまな業務環境にてご利用いただけます。



パソコンやスマートフォンからインターネット経由で利用する勤務管理ツールです。

簡単・スピーディーな導入で人件費の適正管理ができ、残業代削減にも有効です。



光コラボレーション(光コラボ)事業に不可欠な顧客・契約・料金管理などの機能を提供するソリューションです。円滑でスピーディーな光コラボ事業参入、事業運営を支援します。



ソフトウェア開発に必要な環境を、トータルに提供する開発環境クラウドサービスです。リリースサイクルの短縮化とソフトウェア開発の効率化を実現し、お客さまのDevOps導入・促進を強力にサポートします。

タブレットガイド

文字やイラスト情報をタブレットに配信し、スポーツ観戦や観光に新たな楽しみ方を提供します。また、外国人観光客や聴覚に障がいのある方にもわかりやすく情報を発信します。

*「シャナイン(Shanaing)」、「シャナイン」ロゴ、「SmartCloud (スマートクラウド)」、「SmartCloud」ロゴ、「follow (フォロー)」、「コラボコネクト」、「コラボコネクト」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。

社会に貢献する私たちのCSR

NTTコムウェアは、持続可能な社会に貢献する企業グループであり続けるため社会の変化を見据えつつ、多面的なCSR活動を、グループ一体で展開しています。2016年、NTTグループの一員として国連「持続可能な開発目標(SDGs*)」に賛同し自社ならではの貢献の在り方について検討する取り組みを開始しました。

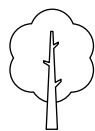
* SDGs: Sustainable Development Goals

CORE CSR Theme

マテリアリティの考え方と重点領域(CSRテーマ)、優先的に検討を開始するSDGs

人と社会のコミュニケーション

THEME 01



- 私たちの約束
私たちは、ICTリーディングカンパニーとして、技術の力と現場の力で、社会の発展に貢献します
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 社会のインフラを支えるICT
社会の基盤インフラとして不動となったICT
 - ✓ IoTの進化
多くの機器がネットワークでつながり、制御される「新たな社会」

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



人と地球のコミュニケーション

THEME 02



- 私たちの約束
私たちは、ICTの力を結集し、事業活動におけるグリーン化に向け、日々、挑戦します
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 地球温暖化の進行
急がれる社会の低炭素化
 - ✓ 生物多様性の減少
人類の持続可能性の観点からも重要な「多様性」
 - ✓ 資源の「希少化」
途上国の発展と、限りある資源の問題

13 気候変動に具体的な対策を



安心・安全なコミュニケーション

THEME 03



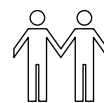
- 私たちの約束
私たちは、情報インフラ企業の使命を胸に、皆さまの安心で安全な生活を支え、守ります
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 「サイバー犯罪」の深刻化
多様かつ巧妙、グローバル化する問題
 - ✓ 高頻度で続く自然災害
災害の激甚化による、経済的影響の深刻化

11 住み続けられるまちづくりを



チームNTTのコミュニケーション

THEME 04



- 私たちの約束
私たちは、チームとして、企業市民として、調和ある事業を進めていきます
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 企業倫理、人権意識の高まり
「ブラック企業」問題など、普遍的命題へと、高まる社会の目
 - ✓ 少子・高齢化社会の加速
自然災害とならば、日本の最大のコントリリーリスクが顕在化へ
 - ✓ コミュニティ参画の浸透
事業特性に即した地域や団体への寄与に高まる期待

5 ジェンダー平等を実現しよう





ステークホルダーの声に耳を傾け、活かす仕組みづくりは、CSRを実践するための基本です。NTTコムウェアは、日々の対話を重んじ、グループのすべての職場で行動指針を徹底しています。



行動指針

NTTコムウェアグループは、社会の重要な通信インフラ構築を担う企業として、災害に強く、かつ強固なセキュリティ環境を確保した多種多様なサービスの提供を可能とする通信インフラの構築及び高度な技術に基づく最適なICTソリューションの提供により、お客様や社会に安心・安全、便利で快適なコミュニケーション環境を提供することに全力を尽くします。

主な対話の機会

- ▷お客さま相談窓口
- ▷Webのお問い合わせ窓口
- ▷日常業務を通じた対話



行動指針

NTTコムウェアグループは、高度な技術とノウハウを持って積極的に業務改善に取り組み、NTTグループの競争力向上に寄与することで、NTTの株主に対する価値を高めます。

主な対話の機会

- ▷投資家説明会
- ▷株主総会
- ▷継続的なIR活動

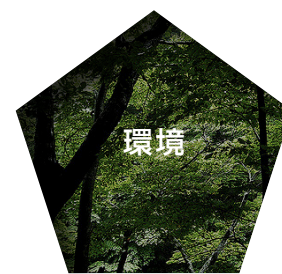


行動指針

NTTコムウェアグループは、豊かな地域社会づくりを推進し、地域社会の課題の解決に取り組み、地域社会に貢献します。

主な対話の機会

- ▷地域の方から事業所へのお問い合わせ
- ▷NGO・NPOとの協業
- ▷コミュニティへの参画



行動指針

NTTコムウェアグループは、CO₂削減のため森林資源保護活動に取り組みとともに、自らの環境負荷低減はもとより、事業活動においては、環境アセスメントを取り入れたICTソリューションの提供により、地球環境の保全に貢献します。

主な対話の機会

- ▷環境マネジメント監査を通じた意見交換
- ▷地域清掃活動
- ▷環境保護活動



行動指針

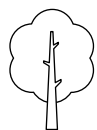
NTTコムウェアグループは、人権を尊重し、心身ともに健康で明るく風通しの良い活力ある職場づくりに努力するとともに、一人ひとりが知恵を出し合い、自らが全力で行動し、課題の解決に取り組み、お客様や社会に喜ばれる会社づくりに邁進します。

主な対話の機会

- ▷ホットライン
- ▷社員懇談会・労使の協議
- ▷人事面談



📷 皆さまが普段何気なく通る道。そのメンテナンスに、AIとICTの力が活かされつつあります。詳しくは▶▶P6へ



人と社会のコミュニケーション

日常のすべてが、世界の誰もが、ICTでつながる社会へ

より効率的で便利、スマートな世界を見据えた、価値創造。私たちはICTのイノベーションを通じ、持続的な社会の実現に貢献します。

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、ICTが日常生活で担う役割の高まりを受け、社会の安定した発展に貢献するソリューションの開発や提供を重要なミッションと位置づけ、確かな技術力とICTを活用する現場におけるノウハウの蓄積を続けています。

また、お客さまに期待されるソリューションの大規模化と複雑化が進んでいる中、NTTグループ各社へのソリューションや技術提供を通じ、高品質で信頼性の高いサービスを提供しています。

取り組みの柱

- お客さまへの価値創造を通じた持続可能な社会への貢献
- お客さま満足の継続的向上

SDGsを踏まえた取り組みの加速

誰もが享受できる、サステナブルでレジリエントな社会インフラの実現に向け、イノベーションの基盤を構築すること。これは私たちのCSR重点活動項目のみならず、国連SDGsの目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献しうる活動です。この観点を踏まえつつ、NTTコムウェアは、先進のICT技術を積極的に活用したサービスの開発を推進します。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



人と社会のコミュニケーション

私たちの
約束

私たちは、ICTリーディングカンパニーとして、 技術の力と現場の力で、社会の発展に貢献します。

OUR EVOLUTION 01 活用範囲が広がるAI技術「Deep Learning」

産業構造の変化やコンピューター技術の進化により、現在、人工知能(AI)の実用化が急速に進みつつあります。NTTコムウェアでは、早くからAIの開発に取り組んできましたが、その成果のひとつとして画像認識とビッグデータ技術を組み合わせたAIソリューションである「Deep Learning画像認識プラットフォーム」を開発。2017年より発売を開始しています。

同サービスでは、「画像収集」「学習」「認識」のフェーズを経ることで、目的に応じた適切な判断をAIが下すことを可能としています。例えば同サービスを道路舗装の点検現場で活用することにより、従来は経験と知見を要した「視認による状況判断」を効果的に実施することが可能となり、少子高齢化に伴う作業員減少をカバーするとともに、作業の確実性・効率性向上にも貢献することが可能となりました。

Deep Learning技術は画像認識に加えて音声認識、自然言語処理にも適用範囲を拡大しつつあります。この結果、その活躍の可能性は、医療診断や自動運転、コールセンターの自動対応や機械翻訳など、より広がりが期待されています。

「Deep Learning」技術による道路の不具合検出



OUR EVOLUTION 02 バリアフリーな社会に貢献するイノベーション

全ての人が安心・安全な生活を享受できる社会インフラを整備することは、世界共通の課題です。その実現へとICT企業が担う可能性は大きなものであるとNTTコムウェアは考え、積極的に参画しています。

2016年11月、東京で開催された「ジャパンウォークin TOKYO/2016秋」は、誰もが分け隔てなく、ともに暮らす社会づくりの一環として、障がいのある方もない方も、ともに街を歩くウォーキングイベントです。合計2,082名が参加した同イベントに、NTTコムウェアは、NTTグループで共同検討の上開発したユニバーサルデザインマップを提供し「ジャパンウォーク・ガイド」として利用されました。スマートフォンやタブレットで同マップを開きながらコースを歩くと、最寄りのユニバーサル施設(スロープ・トイレなど)や道筋で注意すべきポイント(信号機や段差、階段など)が、コース周辺の見どころとあわせて音声で紹介されます。これにより、参加者が、障がいの有無にかかわらず安心・安全にイベントを楽しみつつ、お互いにコミュニケーションを取りながらバリアフリー意識を深めあう一助となりました。

ユニバーサルデザインに配慮した地図「ジャパンウォーク・ガイド」

例：階段しかない道の迂回



ユニバーサルデザインマップがあれば、近くに階段があると通知してくれるので、階段を避けたルートを選ぶことができる。段差や階段がある注意ポイントも地図上にアイコンで表示。

車イスの方には、階段の横にあるスロープを通知する。手すりの有無、スロープの傾斜角度も表示。



©NTT空間情報社



📷 南極において大規模な氷塊の流出が続くなど、気候変動は各地で深刻な現象となっています。私たちは社会のグリーン化に貢献するソリューションを開発し続け、この問題への対策に貢献します。詳しくは ▶▶P8へ



人と地球のコミュニケーション

次の世代へと、豊かで健やかな地球を託せる社会へ

地球と調和した「グリーンな未来」を育む、価値創造。私たちは「社会のグリーン化」と、「自社のグリーン化」に挑戦し続けます。

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、ICTリーディングカンパニーとして、「Green by ICT」を合言葉に、具体的な取り組み目標を設定し、自社ならびにお客さまの環境負荷低減に寄与する活動を継続しています。

また、それらの活動の成果はさまざまな環境活動を通じNTTグループ全体で共有し、企業をまたいだ取り組みを推進しています。

取り組みの柱

- 低炭素社会の実現
- 循環型社会の形成
- 生物多様性の保全

SDGsを踏まえた取り組みの加速

私たちが掲げる3つの取り組みの柱は、いずれもSDGsの複数の目標とかわりを持ちます。中でも特に低炭素社会の実現は、世界的に対策が急がれる目標13「気候変動に具体的な対策を」の観点から大きな意義を持つものと理解し、さらなる取り組みを模索します。

13 気候変動に
具体的な対策を



人と地球のコミュニケーション

私たちの
約束

私たちは、ICTの力を結集し 事業活動におけるグリーン化に向け、日々、挑戦します。

OUR EVOLUTION 01 家電機器へと接続を加速する、HEMSコントローラー

現在、日本では低炭素な社会の実現に向け、各家庭におけるエネルギーの効率的な利用推進のため、電力の見える化や各家電機器の遠隔制御等の家庭内のエネルギーを管理するエネルギー管理システム(HEMS^{*1})の設置が促進される一方、2016年の電力小売り完全自由化を受け電力小売り事業者が増加しています。

NTTコムウェアは、かねてよりNTT西日本の家庭向けセットトップボックス「光BOX+^{*2}」にHEMSコントローラー機能を備えた「光BOX+ (EMS版)」を提供してきましたが、このような動きを踏まえ、HEMSにより多くの家電機器が接続できる仕組みを開発し続けています。その一環として、2016年4月から開始されたホームネットワーク規格「ECHONET Lite規格^{*3}」への接続品質の適合性を示すAIF認証^{*4}をHEMSコントローラーとして初めて取得しました。これにより同規格に参画する内外メーカーの家電機器との接続が一層容易となり、HEMSの普及促進への貢献が期待されています。

*1 Home Energy Management System

*2 光回線をテレビに接続することで簡単に「スマートTV」化してインターネットに接続しさまざまなコンテンツをお楽しみいただけるセットトップボックス。「光BOX+」は、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の商標です。

*3 一般社団法人エコネットコンソーシアムにて策定されたホームネットワーク構築のための通信規格。なお、「ECHONET」は一般社団法人エコネットコンソーシアムの登録商標です。

*4 相互接続性の向上を図るため、アプリケーション通信インターフェース仕様に沿って行う第三者認証機関による認証・試験。

広がるHEMSの
可能性



OUR EVOLUTION 02 自社のCO₂排出量削減に向けた継続的な取り組み

NTTコムウェアでは、ICTによる環境負荷低減を実現する事業を展開する企業として、自社の低炭素化を基本的な責任と位置づけ、データセンターとオフィスビルの双方で、積極的な取り組みを続けてきました。

2016年度は、データセンターの省エネ施策として、データセンターの需要拡大にともなう設備の増設時には、高効率空調設備の積極的な導入を実施し、既存のマシン空調機に関しては、ユーザーへの提供レベルに応じた適切な温度設定の徹底を実施しました。さらに、オフィスの省エネ施策として、調光機能付きのLED照明の導入などを実施しました。また、夏季のクールビズ、冬季のウォームビズなども積極的に展開し、全員参加の省エネに努めています。

これらの結果、2016年度の電力消費量は、実績が128.0百万kwhとなり、今年もCSR計画に定める年度目標を達成することができました。

データセンター、オフィスビル双方で進む省エネ



きめ細かく空調制御されたサーバールーム

LED照明



📷 ビジネスに、日常生活に、ネットワークサービスは社会インフラとして浸透を続けています。私たちは企業や公共のネットワークシステムを支えるICTインフラ企業として、不断の対応を続けています。詳しくは ▶▶P10へ



安心・安全なコミュニケーション

すべての人が安心・安全に暮らせる、ICTに守られた社会へ

常に見守られ、安心・快適な日常を支える、価値創造。私たちはレジリエントでセキュアな社会インフラの構築を推進します。

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、情報インフラに従事するNTTグループの一員として、その円滑な運用・保守を実現する事業体制を整備しています。また、ネットワーク技術の進化にともない発生し続ける新たなセキュリティリスクに対しても信頼性の高い技術を積極的に開発・展開しています。「安心・安全」を徹底し、お客さまはもちろん、社会の皆さまの信頼を得られるよう、日々、取り組んでいます。

取り組みの柱

- 重要インフラとしての高い安定性と信頼性の確保
- 情報セキュリティの確保
- 情報セキュリティの人材の育成

SDGsを踏まえた取り組みの加速

社会のすべての人が、安心して先進的な生活環境の恩恵を受ける仕組みをつくること。これは、最先端のICTでインフラを支える私たちの事業特性が生きるテーマです。国連SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」を踏まえつつ、安定的で信頼性の高いサービス、そして自社のセキュリティの両面から取り組みを推進します。

11 住み続けられる
まちづくりを



安心・安全なコミュニケーション

私たちの
約束

私たちは、情報インフラ企業の使命を胸に、 皆さまの安心で安全な生活を支え、守ります。

堅牢性、セキュリティーに優れたデータセンターサービスの提供

ネットワーク社会の浸透やクラウドサービスの普及などにより、今やデータセンターは先進的な生活を支える「なくてはならないインフラ」となりました。当然、その安全な稼働、安心なサービス提供へと社会の期待が高まり続けています。

NTTコムウェアは、「SmartCloud データセンター」を通じ、堅牢性とセキュリティーに優れたデータセンターサービスを提供しています。まず高品質で強固な耐災害性を重んじ、情報システムの継続運用を脅かす災害・事故などのリスク対策として、耐震構造や冗長構成を採用し、万一に備えています。また、最高水準の情報機密性を徹底するため、専用の敷地内でサーバールームまでの各所に5段階のセキュリティーゾーンを設定。お客さまや社会の皆さまの重要な情報を安全にお預かりします。加えてデータセンター事業における受託業務の内部統制の有効性を保証する「SOC2保証報告書」【Type2】*を2015年より継続取得し、お客さまの法令遵守、制度対応にも貢献しています。

*米国公認会計士協会(AICPA)が定める受託業務の内部統制保証報告書。Type2とは内部統制の整備状況および運用状況についての評価。

高品質で強固な耐災害性

立地 「危険性の低い:ランク1」立地

NTTコムウェアの東京データセンターは、東京都都市整備局が実施した「地震に関する地域危険度測定調査(第7回:2013年9月)」において最も評価の良い立地にあります。

建物 震度6強~7程度の地震にも耐える
耐震・耐火構造、ガス消火設備

電力 2系統特別高圧受電設備、無停電電源
装置(UPS)、自家発電設備

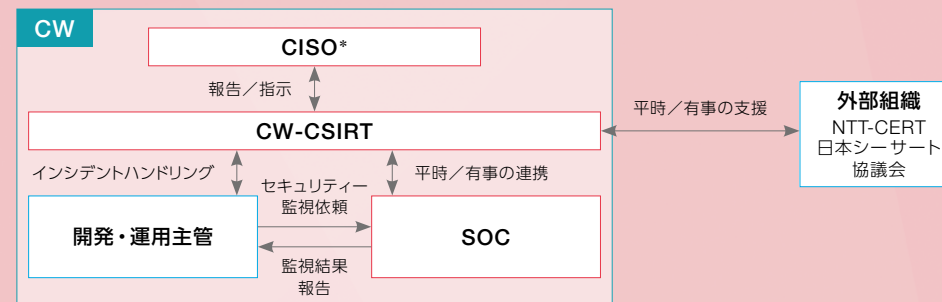
回線 NTT回線の異経路収容、その他キャリア
の回線も収容可能

自社のセキュリティーレベル維持向上に向けた、CSIRT機能強化

近年、ビジネスおよび日常生活でのICT利用が多様化するにつれ、不正アクセスや情報漏えいといったサイバー犯罪も巧妙・深刻化を続けています。このような中、世界の企業では、コンピューターおよびネットワークセキュリティーにかかわるインシデントに対処するための専門組織「CSIRT (Computer Security Incident Response Team : シーサート)」の設立が相次いでいます。

NTTコムウェアはサイバー脅威への対応を強化するため、CW-CSIRT (コムウェア・シーサート) を発足し、2016年12月に日本シーサート協議会(NCA)に加盟しました。CW-CSIRTは、お客さまおよび自社のネットワークシステムにセキュリティーインシデントが発生した際に全社的な統制や指示を担い、被害の特定と軽減、原因解析、再発防止などを実施します。今後はNCAやNTTグループのCSIRTであるNTT-CERT等と情報交換を推進する一方、SOC (Security Operation Center: システムを常時監視する組織)と協働し、インシデント検知・対応力の向上に努めます。

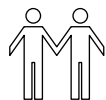
CW-CSIRTの位置づけ



* CISO: Chief Information Security Officer



📷 女性活躍の推進に向け、一人ひとりの行動が重要です。私たちは働き方改革を推進するための制度整備はもちろん、意識浸透に向け研修を随時実施しています。詳しくは ▶▶P12へ



チームNTTのコミュニケーション

多様性が尊重され、皆が生き生きと暮らす社会へ

すべての人が、自分らしく活躍する社会を実現する、価値創造。私たちはすべての人、コミュニティの多様性を尊重し、社会とともに成長します。

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、持続可能な事業活動を通じてお客さまや社会の皆さまに信頼され続けるため、調和のとれた事業運営に取り組んでいます。法令遵守はもちろんのこと、ともに働く人びとへの公正な処遇や多様性の尊重、地域社会への貢献等を柱に据え、さまざまな活動を推進しています。これらの活動は「チームNTT」としてNTTグループ横断で取り組んでいる活動であり、NTTコムウェアのCSR志向経営の基盤ともなっています。

取り組みの柱

- 企業倫理・コンプライアンス意識の向上
- 多様性の尊重と機会均等に向けた取り組み
- 心身の健康増進
- 社会貢献活動の実施

SDGsを踏まえた取り組みの加速

多様性が尊重され、皆が生き生きと暮らす社会の実現に向け、女性の尊重と活躍促進は、基盤となる課題です。NTTコムウェアは、国連SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を踏まえつつ、女性活躍を推進する社会の実現へと、さらなる貢献を模索します。

5 ジェンダー平等を実現しよう



チームNTTのコミュニケーション



私たちは、チームとして、企業市民として、 調和ある事業を進めていきます。

OUR EVOLUTION 01 産休および育児休業者の円滑な復職支援の取り組み

産休や育児休業中の社員にとり、復職に向けてはさまざまな不安や悩みがつきものです。この不安を軽減する上で、平素から休暇中の社内の動向を把握していることは、不安を軽減する重要な取り組みであるといえます。

このような観点に立ち、NTTコムウェアは、産休および育児休業中の社員に対し、育児休業者向けセミナーの開催や定期的に社内情報を提供しています。

社内情報提供はセキュアな環境下で情報を閲覧できる「SmartManual*」の提供により実施しています。

本取り組みによって本来なら社内限りの情報でも産休や育児休業中に確認でき、スムーズな職場復帰の実現を促進しています。

介護休業中の社員やお客さま先常駐社員、出向社員など、産休・育児休業と同様に社内情報に直接アクセスできない社員にも同サービスを活用して情報共有を促進しています。

* 「SmartManual (スマートマニュアル)」、 「SmartManual」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。

SmartManual®による社内情報の共有



OUR EVOLUTION 02 「イ・ケボス」への働きかけをはじめとした、育児・介護支援の取り組み

少子高齢化社会の進展や女性活躍の拡大を受け、企業では、育児や介護といった社員のライフステージを柔軟に受け止めつつ事業を遂行する職場の仕組みづくりが急務となっています。NTTコムウェアでは、育児(イクジ)と介護(ケア)を抱える部下を支える管理者を「イ・ケボス」と定義し、その育成を図っています。2016年7月～9月にかけて行われた課長向け研修においても同テーマを中心議題のひとつに掲げ、約800名の対象者に対し意識啓発を行いました。研修では育児・介護を抱える社員の事例をディスカッションし、社員の時間制約に対応できる職場マネジメントや、チーム全体の働き方改革の理解・実践について、活発な意見交換が展開されました。

管理者への働きかけとあわせ、介護支援では全社員を対象としたハンドブックの配付、育児支援では、対象者への産休前面談・育児休業者セミナー・復職者セミナー実施や育児休業中社員への不安解消に向けた各種情報発信など多種多様な施策を行なっています。また、ダイバーシティ意識の浸透度合いを測るアンケート調査なども実施し、「全員で考え、取り組む」企業風土の醸成に取り組んでいます。

前任課長向け研修



CSR活動の成果と目標

2016年度 主な成果

NTTコムウェアグループでは、NTTグループのCSRテーマ、重点活動項目に沿ってCSR活動を整理し、取り組んでいます。

NTTグループのCSRテーマ	重点活動項目	主な取り組み	2016年度の実績	自己評価
I. 人と社会のコミュニケーション	本業を通じた持続可能な社会への貢献	新サービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ▶「光BOX+」へ家庭内エネルギー管理機能 (HEMSコントローラー) を搭載しグリーンな社会づくりに貢献 ▶ Deep Learning技術 (画像認識プラットフォーム) による道路の不具合検出 ▶ 障がいのある方が安心、安全に街中を歩くことができるようユニバーサルデザインマップを提供 ▶ ICTを活用した「能楽堂」での新たな鑑賞ソリューションを提供 	○
	お客さま満足に向けた取り組み ^{*1}	品質向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 品質マネジメントシステム(QMS)の継続的な取り組み ▶ ITサービスマネジメントシステム(ITSMS)の継続的な取り組み 	○
		CS ^{**} 改善サイクルの定着化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ お客さまのご意見・ご要望をもとに継続的な改善を実施 	○
II. 人と地球のコミュニケーション	低炭素社会の実現	電力消費量の削減	▶ 電力消費量 128百万kwh (2015年度に対して1%削減)	○
	循環型社会の形成	産廃物最終処分量の削減	▶ 一般廃棄物の最終処分率 1%以下 (2015年度に対する増減無し)	○
		紙排出量の削減	▶ OA用紙購入箱数 6,816箱 (2015年度に対して15%削減)	○
生物多様性の保全	事業活動を軸とした展開	▶ 「企業の森・NTTコムウェアの森 (青梅)」の維持	○	
III. 安心・安全なコミュニケーション	重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保	大規模災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ▶ NTTコムウェア全社災害対策本部、各組織災害対策本部の機能整備 ▶ 組織間連携を踏まえた災害対策オペレーションの充実 ▶ 全社災害対策訓練の実施 	○
	情報セキュリティの確保	情報漏えいの防止	▶ サイバー攻撃等のセキュリティ脅威の対応力の強化	○
		セキュリティ意識の維持・向上	▶ セキュリティ意識向上のため、全社員・協働者を対象にした情報セキュリティ・個人情報保護研修の実施	○
セキュリティ活動の改善、定着・維持	▶ 情報セキュリティ人材の創出・育成、セキュリティコンテスト開催	○		
IV. チームNTTのコミュニケーション	企業倫理の推進 ^{*1}	倫理観の高揚と不正・不祥事の回避	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 階層別コンプライアンス研修の実施 (経営層、部長、課長、新任SP・主査) ▶ CSR標語の募集・表彰・掲示など ▶ WBT^{**}による企業倫理研修 (全社員) の実施 ▶ 社員意識アンケート調査の実施 	○
		人権啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 階層別研修 (6~9月) およびWBT^{**}による全社員研修の実施 ▶ 人権標語の募集 (10月) と表彰 ▶ 人権職場学習会の実施 (11月) (本社、支店) ▶ WBT^{**}によるCSR研修 (12月)、社員意識アンケート調査 (1月) 	○
	多様性の尊重と機会均等に向けた取り組み	多様な働き方の支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 女性管理職比率 4.02% (2017年4月1日現在) ▶ 女性リーダー層ワーキング/男女マネージャ会活動の実施 ▶ ダイバーシティ推進セミナー (介護) ▶ 育児休職者・復職者への各種支援の実施 (セミナー、面談など) 	○
		障がい者の受け入れ・支援の充実	▶ 障がい者雇用率 2.12% (2017年3月31日現在)	○
	健康に、安心して働ける職場づくり ^{*1}	メンタルヘルス教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新入社員・新任管理者の面談 100%実施 ▶ 管理者メンタルヘルス研修 95%受講 ▶ メンタルチェック実施率 98.1% 	○
	社会貢献活動	社員参加型による取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種清掃活動への参加 (NTTコムウェアグループ) ▶ 北海道マラソンボランティア (北海道支店) ▶ 冬季アジア札幌大会ボランティア (北海道支店) ▶ ミニバレーボール大会の開催 (北海道支店) ▶ JR五反田駅周辺清掃活動 (東日本支店) ▶ 名古屋ウィメンズマラソンボランティア (東海支店) ▶ 福岡マラソンボランティア (九州支店) ▶ ボランティアギフト・プログラム (NTTコムウェアグループ) ▶ TABLE FOR TWOへの参加 (NTTコムウェア) 	○
		事業特性にマッチした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶ NPO法人へ2台のプロジェクターを寄贈 (NTTコムウェア) ▶ 非常用備蓄食料の寄贈 (NTTコムウェア) 	○
地球環境保護に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各地での海岸清掃活動 (NTTコムウェアグループ) ▶ 犀川、広瀬川清掃活動 (東日本支店) ▶ 大阪マラソンクリーンアップ作戦 (西日本支店) ▶ 屋上緑化の取り組み (西日本支店) 	○		

^{*1} NTTコムウェアグループとしてのCSR重点活動項目

^{*2} Customer Satisfaction (お客さま満足)

^{*3} Web Based Training (インターネットを利用した教育学習システム)

2017年度以降の新目標

2017年度より、従来の活動とその成果を踏まえ、新・活動目標を設定しました。
NTTグループの一員として、サステナブルな社会へと貢献を加速します。

NTTグループのCSRテーマ	重点活動項目	NTTグループの定量指標を踏まえたNTTコムウェアグループ2017年度目標
I. 人と社会のコミュニケーション 	ICTを通じた社会への貢献	▶「2020」「地方創生」に関する新サービス提供件数(実績値)
	ICTアクセスの向上	▶ユニバーサルデザイン・サービス・製品提供件数(実績値) ▶海外案件に関する活動(実績把握)
	お客さま満足の追求	▶効率的な事業運営に向けたコスト削減事業計画値:300億円
II. 人と地球のコミュニケーション 	ICTの利活用による環境への貢献	★電力使用量:データセンターの増床等により11.0百万kwh増加が見込まれるが、施策実施により▲12.0百万kwh以上削減量(電力使用量127.0百万kwh)
	資源の有効活用	▶廃棄物最終処分率:1%以下
	事業上の環境負荷低減	★紙使用枚数:2016年度実績▲5%削減(6,475箱)社員一人あたり2,370枚以下
III. 安心・安全なコミュニケーション 	個人情報保護	▶個人情報の漏えい件数:0件
	情報セキュリティの強化	▶セキュリティ人材の確保 上級レベル:実績管理/中級レベル:180名/初級レベル:1,600名
	通信サービスの安定性と信頼性の確保	★BCPマニュアル類の現行化 ★安否確認等訓練の実施
IV. チームNTTのコミュニケーション 	ダイバーシティの推進	▶女性管理者登用率:2020年6.0%に向けた育成等の実施による登用率の向上 ▶障がい者雇用ゼロ企業:0社(50名以上の会社) ★障がい者法定雇用率:2.0%以上(NTTコムウェア、NTTインターネット)
	人権の尊重	▶人権に関する違反件数:0件 ▶人権に関する研修受講率:100%
	バリューチェーン・マネジメントの強化	▶確認された高リスクサプライヤー件数:0件
	安全・健康・福祉の推進と評価	▶労働災害事故発生件数:0件 ▶特定保健指導実施率:60%
	魅力ある職場の実現	▶従業員満足度:前年度以上
	グループ丸となった社会貢献活動の推進	▶延べ参加率:200%以上 ★社員のボランティア活動登録率30%以上

▶ NTTグループCSR重点活動項目と同一

★ コムウェア独自のCSR重点活動目標

企業情報

CSR活動の方針

NTTコムウェアグループのCSRの考え方

NTTコムウェアグループにおけるCSRは、お客さまをはじめとする幅広いステークホルダーに価値を提供しつつ、社会全体の持続的発展に寄与しようとするものです。NTTグループが一体となった取り組みに参画するとともに“NTTコムウェアグループらしさ”も追求しています。

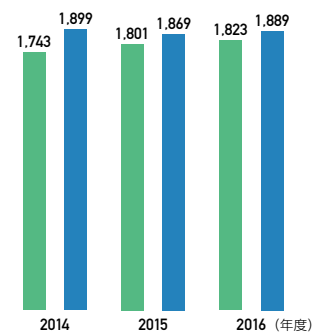
NTTコムウェアグループCSR活動指針

NTTコムウェアグループは、高い倫理観を持ち、地球、社会の一員としての自覚のもとに、情報通信の基盤を担う責任ある企業群として、最新技術によるネットワークの構築やICTソリューションの提供を通じて、安心・安全で豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献します。

企業データ

売上高

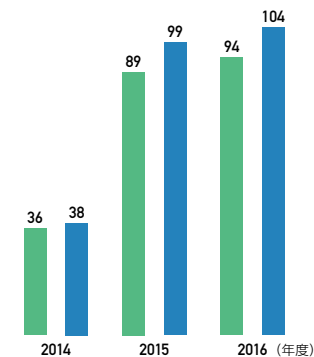
(億円)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

営業利益

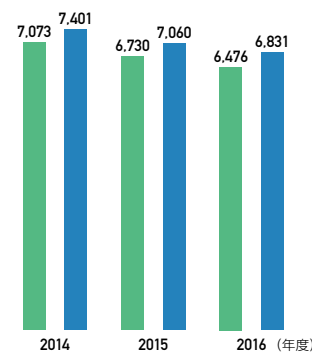
(億円)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

社員数

(人)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

編集方針

企業概要

社名	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社(略称:NTTコムウェア)
本社所在地	〒108-8019 東京都港区港南1-9-1 NTT品川TWINSアネックスビル
資本金	200億円
株主	日本電信電話株式会社
創業	1997年9月1日

グループ会社

NTTインターネット株式会社
コムウェア・ファイナンシャル・システムズ株式会社

報告対象組織

原則として、NTTコムウェアグループ全体の取り組みについて報告しています。なお、NTTコムウェア単独または各グループ会社の取り組みについて報告している箇所では、それぞれの名称をあげています。

報告対象期間

2016年4月1日~2017年3月31日
(一部、2017年4月以降の取り組みについても報告しています。)

参考ガイドライン

GRIサステナビリティレポーティングガイドライン(G4版)

発行時期

2017年11月(前回発行2017年1月)

* 人名、団体名、公共機関名などは原則として敬称を略しています。
* その他、記載されている会社名、製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ窓口

NTTコムウェア株式会社
総務人事部 CSR推進室
〒108-8019 東京都港区港南1-9-1
NTT品川TWINSアネックスビル
Tel: 03-5463-5756
Fax: 03-5479-9218
E-mail: csr@nttcom.co.jp



エコICTマーク

「エコICTマーク」とは、ICT分野におけるエコロジーガイドライン協議会が定めるシンボルマークです。電気通信事業者が適切にCO₂排出削減の取り組みを自己評価し、その取り組み状況に応じて「エコICTマーク」を表示し、適切に活動していることを広く公表することができます。

NTTコムウェアは、電気通信事業に関わる企業としてCO₂削減に取り組んでまいります。

